

本の修理を始められる方へ

R2:2022-09-30、2019-10-27、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

No.	項目	内容
1.	本の修理は面白い	本の傷み方に同じものはないし、修理の仕方も十人十色で、各人の裁量に任される。失敗を重ねながら経験を積み、自分流の修理方法でうまく仕上げた際の達成感は格別。
2.	本の修理の基本	平塚市図書館 HP 等。修理箇所の指摘と基本方針は図書館が出す。 1) 修理の目的： もったいないから。あと数年使用する。 2) 副次的メリット： 破損→そまつの悪循環を断ち、本を大切に 3) 破損本の対応： 修理、業者、廃棄。手間と費用のバランス 4) 修理の優先順位： 頑丈第一、見栄え第二（小口の揃え等）
3.	修理の参考資料	出版社発行の入門書と各図書館 HP のテキストの主なもの 1) 少年写真新聞社発行の入門書「図書館のための簡単な本の修理」 2) (株)澁標（みおつくし）発行の入門書「図書の修理 とらの巻」 3) 同上「続 図書の修理 とらの巻」 4) 守谷中央図書館 HP のテキスト「本の修理の玉手箱」←分りやすい 5) 横浜中央図書館 HP のテキスト「修理講座テキスト」 6) 平塚市図書館 HP の資料「本の補修のしかた」
4.	本の各部の名称	上記 3.の参考資料を参照。 寒冷紗（かんれいしゃ）、花布（はなざれ）、見返し、しおりひも
5.	必要な材料と道具	修理ガイド No. 2.1 他「本の修理の材料リスト、写真、購入依頼の目安」及び No. 2.4 他「本の修理の道具リスト、写真」を参照。 各自が用意するものは、腕カバー程度。材料と道具は基本的に共用。 ただし、各自が使いやすい道具等を準備してもよい。
6.	修理作業の常識など	修理ガイド No. 1.2「本の修理作業の常識とノウハウなど」を参照。
7.	主な損傷事例	修理ガイド No. 3.1 からの資料や修理が必要な本にて事例を説明。 頁破れ、頁割れ、頁外れ、セロテープ、腰砕け、しおりひもの干切れ
8.	破れ修理の実際	ボンドが望ましいが、和紙テープ®、ページヘルパーも考慮。ブックカバーは厚いので不適。リサイクル本を各自が実際に破き、修理する。破れの重なりの上下を見極めて修理。テープを頁の端にて切る練習。
9.	ボランティア室	他のボランティアとの共用であることを忘れずに。 入室が一番なら、点灯、カーテン開け、窓開け、ポット準備、必要ならエアコン電源 on、作業の準備。退室が最後なら、全体の机上の整理、エアコン off、ポットのコンセント、窓閉め、カーテン閉め、消灯。

以上

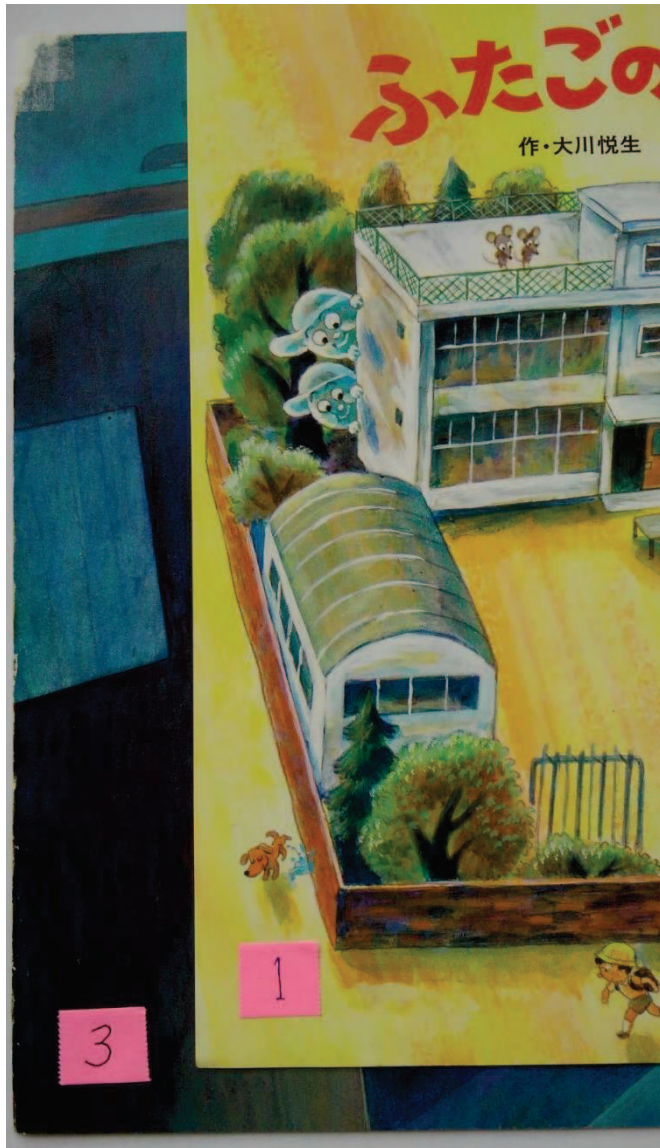
本の修理作業の常識とノウハウなど

2022-09-28、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

項目	内容	参照
1. 修理箇所チェック	修理する本の全体に目を通し、指摘された箇所以外にも修理すべきところがないかチェックする。	
2. カルテの貼り付け	修理カルテ（修理記録票）に、修理者名、本の題名、日付、修理内容を記載し、本の表紙にセロテープで貼り付ける。	
3. 頁番号を付ける	絵本には頁番号を省略したものが多い。間違ふ可能性があれば、奇数頁に頁番号を書いたロール付箋紙を貼る。	写真 3
4. ボンドは薄めない	薄めたボンドで頁割れの修理をすると周辺の頁にしみて「くっつき」が起こるので、水で薄めない。	修理ガイド No. 3.1
5. 寒冷紗へのボンドは刷毛塗り	寒冷紗貼付けのボンドは小型容器から皿／すずりに出して刷毛で塗る。チューブ入りボンドの先端を深く切り、穴を大きくして直接塗るのは不可。点付け用に使えなくなる。	
6. ソルベントの気化防止	テープ剥がしのソルベントは気化しやすい。使用中は蓋を回して締めなくてよいが、常に蓋を被せておく。	
7. テープの端止め	テープ類の切れ端止めには、接着力が強いマスキングテープが適す。このテープの折り返しの向きに注意する。	写真 7
8. 大きな破れの補修	破れの上下を確かめ、文字や絵のずれをなくしてから仮止めをし、カッターの刃先にボンドを付けて徐々に貼り付ける。	写真 8
9. 糸抜け防止	針は糸通しが簡単なワンタッチ針を使用。糸抜け防止は15mmで折返してボンドを少し付けて指でしごく。	写真 9
10. 逆さ貼り防止	分解した本の見返しの遊び紙の裏が無地なら、天地逆さ貼り防止のため、「左上」／「右上」の付箋紙を貼る。	写真 10
11. 刷毛の洗浄	ボンドを使った後に刷毛や竹ひごを洗わないとカチカチに固まるので、使用後に必ず水で洗う。	
12. 本の汚れ除去	補修を終えたら、全体に目を通して仮付けした付箋紙などを外し、電解アルカリ洗浄水で表紙を拭いて返却する。	
13. 本棚に並べる	本棚の敷板の前面と本の背表紙を揃えて並べると（面揃え）、見た目がきれいで背表紙も見やすい。	写真 13

なお、修理ガイド No. 5.3「糸綴じ絵本の修理で気を付けたいこと」も参照。

以上



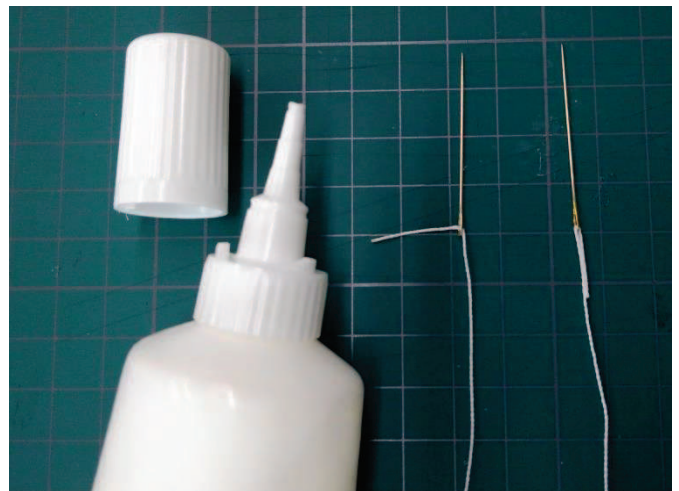
← 写真3
頁番号

↓ 写真8
大きな破れの補修



↑ 写真7
テープの端止め

→ 写真9
糸抜け防止





← 写真 10
逆さ貼り防止

→ 写真 13
本棚に並べる
上 2 段が面揃え
下段が背面揃え

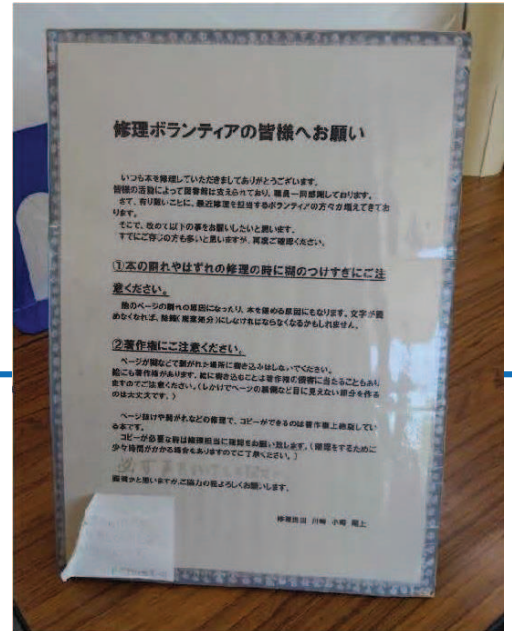


本の著作権 – 絵や文章の修復は図書館側に相談

R2:2024-07-10, 2021-06-18、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

ボランティア室の北東の隅に右の写真のような立て看板があります。これは 2015 年頃に作成されたようで、その内容を下の青枠内に転記しましたが、図書館側からの著作権などについてのお願いです。

本を修理する際に絵を修復したり、文章のコピーを貼り付けたりすることは著作権の侵害になるため、そのような場合には図書館側に相談してください。



修理ボランティアの皆様へお願い

いつも本を修理していただきましてありがとうございます。皆様の活動によって図書館は支えられており、職員一同感謝しております。さて、有り難いことに、最近修理を担当するボランティアの方々が増えてきております。

そこで、改めて以下の事をお願いしたいと思っております。すでにご存じの方も多いと思いますが、再度ご確認ください。

① 本の割れやはずれの修理の時に糊のつけすぎにご注意ください。

他のページの割れの原因になったり、本を傷める原因にもなります。文字が読めなくなれば、除籍(廃棄処分)にしなければならなくなるかもしれません。

② 著作権にご注意ください。

ページが糊などで剥がれた場所に書き込みはしないでください。絵にも著作権があります。絵に書き込むことは著作権の侵害に当たることもありますのでご注意ください。(しかけてページの裏側など目に見えない部分を作るのは大丈夫です。)

ページ抜けや剥がれなどの修理で、コピーができるのは著作権上絶版している本です。コピーが必要な時は修理担当に確認をお願い致します。(確認をするために少々時間がかかる場合もありますのでご了承ください。) 「必ず声をかけてください。」(「」内は手書きの追記)

面倒かと思いますが、ご協力の程よろしく申し上げます。

「気をつけてもらいたい修理本の例です。目を通してもらえるとありがたいです。修理担当職員一同」(「」内は立て看板の左下に貼ってある手書きの追記)

以上

一読を！ 「図書の修理 とらの巻」

R3:2024-01-28, 2017-12-19、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

図書館が本の修理の参考書として、下記の図書を購入してくれました。余りなじみがない和紙や、背表紙の修理について割と詳しく述べています。説明に物足りないところもありますが、絵がふんだんにある入門書なので、ざっと読んでみてください。

「図書の修理 とらの巻」

NOP 法人書物研究会編、板倉正子監修 野呂聡子ストーリー・絵

Rev.1 発行所：(株)澁標（みおつくし）、2017-08 発行、¥1,300+税

追加コメント

イラストをふんだんに使った分かりやすい入門書です。下記のような点が気になりますが、一度は読んでおくことを勧めます。

- 1) 頁 3 に「化学糊やセロテープ、ページヘルパーなどについては、可逆性を損なう（元に戻すことが出来ない）、経年劣化により黄変やシミの原因となる、などの理由により、出来るだけ使用を避けたいと考えています。」の記述があります。テープの記述は頁 29 と 32 にもあります。
- 2) 頁 13 に「本体は普通、4 枚（8 ページ）を 1 折とする折丁の集まりでできておる」とありますが、その下のイラストを説明するのなら、「4 枚（16 ページ）」とすべきです。
- 3) 頁 19 から 4 頁ほど「紙の目」を説明しています。紙の縦と横の強弱や伸び差などが、一般的な本の修理に直接関係するとも思えないので、余りこだわらないことにします。
- 4) 頁 28 に、接着剤としては可逆性の面から、でんぷん糊を推奨しています。ある図書館では、でんぷん糊 50%+ビニール糊 50%を混合して使用しているので、今後でんぷん糊の使用も考えます。
- 5) 頁 44～75 の 32 頁にわたって背表紙の修理を詳しく説明しています。
- 6) 頁 81 に寒冷紗の裏表の向きについて述べており、作業性から裏打ち紙のない方（網目側）を本体の背に接するように貼ることを推奨しています。

以上

入門書「図書館のための簡単な本の修理」

R2:2024-01-30, 2020-01-07、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

本の題名：「図書館のための簡単な本の修理」

原案・監修：高岡容子（ひろこ）

発行所：株式会社 少年写真新聞社

2019年6月発行、2,200円＋税

図書館で人気の児童書は貸出回数が多いために壊れやすく、それらを読める状態に戻すための簡単な修理方法を写真により紹介しています。これから本の修理を始める方に最適の分かりやすい入門書です。

この本は、児童書のページの破れや外れなどの修理が主体となっており、寒冷紗の取り替えや糸綴じを述べていないため、経験者には物足りない面があると思いますが、一度は目を通しておいってください。

この本を読んで気になったことを列記します。

- 1) 頁14に糊として「でんぷん糊」を紹介。ビニール糊との違いを知る必要あり。
- 2) 頁40の9項の2cm×2回の意図が不明。4cm（4項では5cm）×1回ではダメか。
- 3) 頁56からのノドの割れの修理に寒冷紗を使わないで、クータのみで本体と表紙を繋いでいる。東海では現在クータを使っていないので、トライしてみる必要あり。
- 4) 頁57のクータの作り方の4項で、両側が背幅より2mm狭いとカマボコ形にならない。2mm広いではないか。
- 5) 頁70のBフィルムの貼り方で、2項と4項が分かりづらい。守谷中央図書館の「本の修理の玉手箱」が分かりやすい。

以上

本の修理、第2回講習会

R2:2024-02-08, 2018-05-19、東海村立図書館、本の修理ボランティア、向谷

1. 日時： 2018年5月19日（土）14:00～16:30
2. 場所： 東海村立図書館、研修室3
3. 講師： 図書館職員
4. 受講者： ボランティアメンバー
5. 内容：
 - 5.1 ページ破れ： ボンドでの修理。添付「修理マニュアル」の1/3頁を参照。
 - 5.2 背破れ： ブッカーでの修理。添付2/3頁を参照。
 - ・③と④の間に以下を挿入
「ブッカーを貼った後、表紙のミソの凸部へ向って斜めに切り、両端を内側に折って見返しに貼り、中央部はカットする。図1を参照。」
 - 5.3 腰砕け： 竹串とボンドでの修理。添付3/3頁を参照。
 - ・ボンドを塗ったら、見返しを指でノドに押し付けて、接着しやすくする。
 - 5.4 ページ外れ： テキストなし。
 - ・外れたページの背に竹串でボンドを塗ることもある。一般にはチューブ入りボンドを使う。
 - ・固まったボンドでケガをすることもあるので、ボンドを多量に付けない。
 - ・貼ったページの周辺に余分に付いたボンドを、張った糸で取る方法もある。

以上

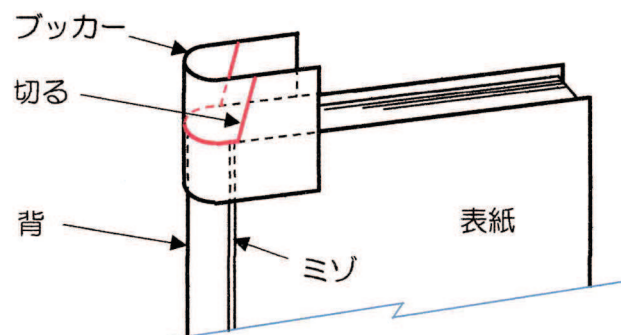


図1

修理マニュアル【その① ページ破れ編】

★本のページ破れ

【使用する道具】

- ・ ページヘルパーP (中身によってメンディングタイプのページヘルパー)
- ・ ボンド (修理用が良いが木工用でも可)
- ・ 竹串 (もしくは細い筆でも可)
- ・ はくり紙 (ブッカーをはがした後の紙)
- ・ クリップ
- ・ 輪ゴム

竹串は購入してから少し削ったりしたほうが良い。細くしたり、三角形にすると使いやすくなる。

①破れ具合を確認する。

- ・ 単純な破れ,印刷面が破れて下の白い部分が見えているか等

②修理するページの下にはくり紙を置く (つるつる面を上)

③破れ部分の境目の方にボンドをつける

- ・ 竹串か筆の先にボンドを乗せてから破れの境目につける形で行う。
- ・ ボンドの量は少しずつで,あまり多くしないように心がけること。あくまでも少ない際のみボンドは追加する。

④破れ部分をあわせる。

- ・ ボンドがはみ出したら筆,串でボンドをふき取る。
※このときボンドをページに残さないようにすること。

⑤修理したらはくり紙をページの上に敷く。

- ・ 今度はつるつる面が下になるようにすること。

⑥本を閉じてクリップか重石をしておくこと。

- ※大体2時間目安。

⑦時間が経ったら修理箇所を確認すること。

- ・ 修理した破れ部分がきちんとついているか。
- ・ のりのはみ出しは無いか。
- ・ 他にくっついてしまっていないか。

背破れの修理・・・図書の背表紙上部の破れをなおす。

目的：書棚から図書を取る際、指でひっかけて取ることを繰り返すことで、背表紙が破ける。その補修と背表紙からの破損を防ぐ。

今回は応急処置の手段としてブッカーを使用する。

道具： 装備用ブッカー ハサミ

やり方：

① ブッカーを次の長さに切り取る。

横 (2+背表紙厚さ+2) cm × 縦 6 cm

絵本などの厚みのない本の場合は、横 6 cm×縦 5 cmに切る

② 切り取ったブッカーを縦半分(a)、横半分(b)に折る

③ 紙を剥がし、ブッカーの(a)の折り目が背表紙の真ん中に、(b)の折り目が本の上部にあたるように合わせて貼る。

④ 本からはみ出たブッカーのうち、背表紙の上にあたる部分をカットする。

⑤ 残したブッカー部分を表紙の内側に折りこんで貼りつける。

修理講習会 手順書

腰砕けの修理・・・主にハードカバーの図書

目的：ノド（本が閉じられている部分）が長期の使用により劣化して緩んでくるので補強とさらなる破損を防ぐ。

道具：

修理用ボンド（背固用・一般用） / 竹ひご又は竹串 クリップ・輪ゴムまたは重石になるもの

やり方：

① 本を背表紙側から手に取った際、ぐにゃぐにゃする本はノドの接着が緩んできている。本を開いて、表紙がぐらつく方のノドを確かめる。見返し紙と表紙の間が浮いて、隙間が空いていれば腰砕け。

② 竹ひご（又は竹串）に背固め用ボンドを付け、見返し紙の浮き上がっている所に差し込む。竹ひごを回転させて、ついている糊を内側に塗り付けて、引き抜く。

③ 糊付けした部分が動かないようにクリップか重しをして、2時間以上置く。